

平成 28 年度第 9 回（159 回）

清瀬市まちづくり委員会議事要旨

日 時：平成 29 年 4 月 18 日午前 10 時から

場 所：アミュービル 6 階 講座室 1

出席者：新田斉、原弘美、松里征男、朝倉勇、加藤カツエ、菊谷有希子、木村敏夫、小苺米清弘、小西一午、小寺喜裕、後藤清、齊藤忠之、戸口静江、富田ひろ子、中村京子、西畑省二、畑中卓純、築瀬忍

事務局：市民協働係長、企画課主事

欠席者：藤井祐介、五十嵐玲子

<配布資料>

- 1 平成 28 年度第 9 回（第 159 回）清瀬市まちづくり委員会次第
- 2 「高齢者の活用を考えるまちづくり」 回答案
- 3 「清瀬市内子ども関係機関周辺を禁煙地帯に！」 回答案
- 4 第 14 回まちづくりフォーラム 次第（案）
- 5 まちづくりフォーラム チラシ
- 6 まちづくりフォーラム進行表

1 開会

2 前回の確認

委員長：議事要旨の確認を行う。

<委員 承認>

3 提案の審議

委員長より配布資料の確認。

委員長：提言書の確認にうつる。意見等の発言願う。

委員：提言書4頁の「樹木（自然）」を「自然（樹木・花・草木）」に変更願う。

委員長：変更する。

委員：提言書3頁の「アルバイトやボランティアなどの中途半端な・・・」の「中途半端」は削除した方がいいと思う。

事務局：「アルバイトやボランティアなど・・・」に修正する。

委員：提言書1頁の「清瀬市の昔の道や道標等の消失や場所の移動がみられた」とあるが、具体的な事例は入れなくてよいか。

委員長：具体的な事例として、フォーラム時に写真等入れるか検討する。

委員：担当課の郷土博物館や市史編さん室の並びは守ってほしい。
また5頁の文化的財産の情報公開の「デジタル文化資料展示館（仮称）」に関しては既に資料展示を行っているので、記載しなくて良いのではないか。

委員長：ホームページ上に掲載することで、誰でもどこでも見られるようになるということである。

委員：「清瀬郷土の日（仮称）」に関しては、文化財についての提案なので、「清瀬ふるさと文化の日（仮称）」にした方がいい。仮称にしても捉えやすいと思う。

委員長：仮称であるので、この会議で詰める必要はないと思う。

他に意見等がなければ細かい文言は修正し、フォーラムに向けた資料を作る。

続いて「高齢者活用について」の回答案を審議する。

<委員長が「高齢者活用について」の回答案を読み上げる>

委員：この回答で良いと思う。

委員：議事要旨の5頁目、「個人個人の問題と表現してまちづくり委員会の資質が問われる」とあるが、どう捉えていくか。

委員長：回答案には市の教育マスタープランを記載した。個人個人の問題の記載を薄めた。

委員：まちづくり委員会は何のためにあるかの問いかけだと思う。委員会のあり方を確認してから、審議する必要があった。まちづくり委員会は、よりよいまちづくりの提案と考えているので、個人の問題で片付けてはいけないと思った。

委員：回答案の「各種委員の・・・」の部分は気になる。提言は委員会否決となった。清瀬のまちづくりはどのような方法があるか。この提案は全ての高齢者を救えと言っているわけではない。委員会を1つでも増やせば有効だと思っている。しかし、委員会内で回答として問題

ないと判断されれば良い。

委員：委員長が「回答案に将来に含みを持つ」と話されていたので、今後再提案頂けたらと思う。

委員長：「国や都、清瀬市の動きをみて」と回答案に記載してあるので、今後の動きをみていただければと思う。

続いて、「子ども関係機関周辺を禁煙地帯について」の回答案の意見をいただく。

<委員長が回答案を読み上げる>

委員：まちづくり委員会とは一体何か。何のためにまちづくり委員会があるのかと思う。この回答案は何を伝えたいのかわからない。回答案の中に「抜本的な解決」や「根本的な解決に繋がらない」とあるが、まちづくり委員会が「抜本的な解決」を期待されているのか。まちづくり委員会が期待されている事は「ささやかな解決」ではないのか。市民目線で解決案を打ち出していくことが役割ではないのか。抜本的な解決に繋がらないから提言しないというのなら、まちづくり委員会の存在があるのか。

また、「国や都の動向を注視していくことが・・・」とあるが、他力的な回答となっている。抜本的な解決に繋がらないと言っているながら、今後の動きを注視するという、矛盾した回答になっていて自分としては理解できない。

委員：まちづくり委員会はまちづくり条例に従って行っていると思う。次のフォーラムではその話題になると思う。「個人の問題」と「公の問題」の両立がまちづくり委員会で解決できるのか。個人と公の問題を一緒に解決しようとするところに難しさがある。まちづくり委員会がどのような立場やスタンスを取るのか。どこまで踏み込んでいくかである。

委員長：「禁煙」について以前3回の提言があり、重点地域などの設定を行ってきているところである。今後国や都も、オリンピックに向け法改正し禁煙強化に向け進むと思っている。まずはその動きを見ようとの主旨である。

委員：「まちづくり委員会では議論を重ね、昨年「禁煙」の提言をしていて現状を見守っているところです」などの記載をすればよいと思う。

委員長：過去の経緯と今までの提言の実施状況も入れた回答にしたい。

委員：提案内容が「清瀬市内の子ども機関の禁煙」となっているので、委員長の発言内容であれば、提案者も希望を持ってもらえると思う。

委員：オリンピック開催で今後進捗が見込めると思い回答にしていいたと思った。国や都の動きによって、対応も見込める等の前向きの回答でよい

と思う。

委員長：法も条例もまだ未整備なので対応が見込めるとは記載できないが前向きな内容で回答していく方向で考える。

委員：まちづくり委員は市民からあがってきた提案を審議する機関である。審議した結果を回答すれば良いと思う。回答内容も更に簡潔にできると思う。

委員：まちづくり委員会は決定権を持っていないが提言することが可能である。私が心配するのは提案した方々がまちづくり委員会の見識を疑う事である。提案はささやかな提案であり、世界的な禁煙状況を背景にしたものと思う。このままでは、まちづくり委員会とは何かという疑問を植え付けてしまうことが心配だ。もう少し、前向きでまじめな回答にしてほしい。将来に含みを持たせないともまちづくり委員会とはなんぞやとなってしまう。

委員：回答案の6行目に「現実的にはそれは難しいだろうという見方もあります」となっているが、削除した方がいい。

委員：市内全面禁煙は難しいという発言だと思う。私は回答案の内容で良いと思う。前向きとかまじめの意味がわからない。ある意味まじめな回答と考えている。今後の動向を見ていくことを記載していてもよいと思う。

委員：まちづくり委員会とは「後追い委員会」の印象を与えてしまう。自発的な事を考えていないと思われてしまう。市にとってよりよいまちづくりとはなにかを考える委員会だと思う。また、再提案していただければよいと思う。

委員：まちづくり委員会のあり方に関してはフォーラムで話し合えればよいと思う。

委員：先ほど委員からの意見があつたが、この提案を読み返して、丁寧に回答してほしい。

委員：今までの審議の際に前向きな意見が出ていない。この提案は掘り下げると深い問題だと思う。無理だから行わないということではなく、現実的な状況を見ながら進めるという回答をすべきだと思う。有効対策はたばこの販売中止ではないか。そのことも含め本来議論すれば一年かかる課題であると思う。回答案は後ろ向きという訳ではなく、現状の審議ではこの回答になると思う。

委員：そういうことであれば、まちづくり委員会はいらないと思う。この回答なら、まちづくり委員会の存在意義がないと思う。現状必要であると思う課題を少しずつ解決することで抜本的な解決に繋がると思う。

未来志向型で新しい回答をしていくことに意義があると思う。

委員長：次回の会議で回答案を改めて修正して提出する。続いて「景観にあった店舗の外装を」の審議にうつる。

<委員長が「景観にあった店舗の外装を」について読み上げる>

委員長：東京都屋外広告物条例があり、調べると色彩、材質に関しては規制ないが、大きさに関して引っかかっている。申請は提出されていないと聞いている。

委員：提案者に対して届を出しているかどうかを伝えるかどうかを検討した方がいい。

委員：大きさに関してはどのように調べたのか。

事務局：担当課に確認した。

委員：申請すれば許可がでるのか。

事務局：許可制ではないので、おそらく指導が入ると思う。

委員：提案者は色を指摘しているので、回答の仕方を考える必要がある。営業もあるし、宣伝効果もあると思う。将来こうしたいと記載できればよいと思う。回答は保留にできるのか。

委員：まちの景観づくりは非常に重要なテーマである。すぐに解決できるものではないので、清瀬のまちの景観をどうするかから始まる。来期にこの審議を引き継げるのか。

委員：市内全域で制限するのではなく、地域の一部で制限をかけることができる例もある。

委員長：この提案は次年度に引き継ぐということでよいか。

<委員 了承>

委員長：委員より了承いただいたので次年度のまちづくり委員会に依頼する。続いて、まちづくりフォーラムに関して役割等を決めていく。

<司会進行、経過報告、提言報告、資料作成は委員長の選任で決定するため、改めて指名する。>

委員：「5 みんなで考えよう 清瀬のまちづくり」は現まちづくり委員だけなのか。

事務局：今後のまちづくり委員について話し合っていきたいと思う。

委員：フォーラムの宣伝はどのように行っているか。

事務局：チラシと市報とホームページで掲載する。

委員：市報にまちづくり委員に関する記事が載らないためフォーラムの参加者が少ないと思う。

事務局：今まで多くのまちづくり委員がいたので、その方々がきていただいている。

次回は5月16日（火）午前10時～ アミュービル6階 講座室1

5月20日がフォーラム開催。